

キャラクター名
ミラ=ハルトマン

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	中学生
	オプション		年齢	14	性別	女
覚醒	生誕	衝動	闘争	初期侵食率	38	%
出自	資産家	経験	脱走	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	39
肉体	4	1	0		4	9	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	3		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
『実験体』	P	N		
イルゼ=ローディ	P 好奇心	N 無関心		
両親	P 誠意	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv(下限7)								
リフレックス	2	2	リアクション	至近	自身	-	-	
効果: C値-Lv(下限7)								
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 肉体の全てのダイス+[Lv+2]								
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 素手のステータス変更								
一閃	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 全力移動の後に白兵攻撃を行う								
ワイルドグロース	1	3	セット	至近	自身	自動	リミット	
効果: セットで完全獣化。1シナリオLv回								
フルパワーアタック	3	4	セット	至近	自動	自動	80	
効果: ラウンド中攻撃力+[Lv*5]、行動値が0に								
ライトスピード	1	5	マイナー	至近	自身	自動	100	
効果: メジャーアクションを2回行える。C値+1。1シナリオ1回								
朧の旋風	1	10	オート	至近	自身	自動	100	
効果: ドッジ成功でメイン実行。HP10消費。1シナリオ1回								
切り払い	1		リアクション					
効果:								
巨獣の爪牙	1		メジャー	至近	自身	自動		
効果:								
眠れる遺伝子	★	-	-				-	
効果: 動物の姿になれる								
猫の瞳	★							
効果: 暗視								

「ミラの名前はねー、ミラっていうの！よろしくね！にゃははは！」

【プロフィール】

とある資産家の家庭に生まれた娘。なのだが、産まれた時からすでにオーヴァードであったミラには、キュマイラのシンドロームにより獣の耳と尻尾が生えていた。両親はその姿に驚きはしたが、彼女を邪険に扱うことはしなかった。しかし、両親の頭を悩ませたのはミラ自身の生来の奔放すぎる性格の方であり、それにオーヴァードの超人的な運動能力が合わさってしまうことで手がつけられない状態になっていた。

そういう理由で、現在はUGNの施設に預けられているチルドレンの一人として生活を送っている。施設に預けられてからはそれなりに能力の制御の仕方でも覚えたようで、壁をぶち抜いたり、UGNの構成員の顔にひっかき傷をつけたりするようなことは少なくなり、外に出る時は耳と尻尾を隠せるようになった(時々、どこかかなりの頻度で隠し忘れる)。

ただし性格までおとなしくなったかといえば全くそんなことはなく、自由かつ気まぐれすぎる行動で常にUGNの人間を困らせている。

生まれた時からオーヴァードの能力と共にあり、その力を振り回してあらゆる遊びを行ってきた彼女は、その戦闘センスも抜群。パワーとスピードを高水準で併せ持ったシンプルな格闘攻撃で敵を翻弄する。

戦闘における能力については信頼されているが、ここでもやはりミラの感覚的な行動は災いし、暴走してしまうといったこともかなりの頻度で起こる。というのも彼女にとって能力を振り回してはしゃぎ回することは楽しいことであり、遠慮なくその力をぶつけられるオーヴァードとの闘いは至上の娯楽である。その喜びは少々ダメージ程度では治まるのではなく、全身を血に染めながら笑い声を上げ闘う様はもはや狂気的である。

そんなミラに与えられたコードネームは生と死の欲動の意であるトーデストリープ(Todestrieb)。

